

「病院再編事業」と「スマートウエルネスシティ」を学びました

福祉民生常任委員会 委員長 長嶋 陽子

令和8年5月18日
岐阜県多治見市



多治見市民病院は、平成 22 年に公設民営方式へ移行し、平成 24 年には新病院を開院しました。地域医療機関との連携を強化し、臨床研修指定病院として人材育成に取り組み、現在では安定した病院経営を実現しています。本市の安中市立碓氷病院においても持続可能な地域医療体制の構築が求められる中、経営改善や医療機能の充実に向けた取り組みを学び、とても勉強になりました。

三島市では、歩きたくなる都市環境整備と健康施策を一体的に進め、市民が自然と健康になれるスマートウエルネスシティを推進しています。健康寿命の延伸や将来的な医療費の適正化には、日常的な運動習慣を促すまちづくりが重要であることを学びました。本市においても、高齢化が進んでいますが、市民の健康増進と地域づくりの実現に向けて参考になりました。



令和8年5月19日
静岡県三島市

「駅前周辺整備」、「有害鳥獣対策」と「ブランド認定制度」を学びました

経済建設常任委員会 委員長 巽 久男

令和8年5月19日
福井県あわら市



あわら市では、北陸新幹線開業に合わせて進められた芦原温泉駅前の周辺整備について視察しました。駅前広場、交流施設、駐車場、周辺道路が一体的に整備されています。ローカル線と新幹線という違いはあるものの、交通結節点としての設計や賑わい創出への取り組みなど、本市の新駅構想において参考となるものでした。

大野市では、微生物を活用した有害鳥獣分解処理施設の運用について学びました。捕獲個体を効率的に処理するための専用施設を整備し、運営体制を確立しています。捕獲後の処理体制の構築を検討する上で参考となるものでした。



令和8年5月20日
福井県大野市

令和8年5月21日
石川県野々市市



野々市市では、「野々市ブランド認定制度」を視察しました。農産物に限らず、お菓子や加工食品など多様な商品が認定され、市と事業者が連携してブランド力向上に取り組んでいます。安中ブランドを確立し、販路拡大や認知度向上につながる施策を検討する必要性を確認しました。